

## 平成 17 年度事業報告書

自：平成 17 年 4 月 1 日

至：平成 18 年 3 月 31 日

17 年度は前年に引き続き広瀬川と流域の環境改善を主たる目的とする一連の事業を実施しました。河川清掃では、一般企業はじめ、県国際交流協会の留学生、市社会福祉協議会のボランティア体験者を受入れ、季節ごとに花見会、芋煮会、焼き芋を行うなど親睦を深めながらより広く活動に参加できるように配慮しました。ホタル事業に於いては、大野田ホタル観察会、蕃山ホタル観察会を行い、また新たにホタル飼育を始めた利府町しらかし台小、利府高校、スポパーク松森へホタルの幼虫を提供し、飼育法を伝えました。

また、今年度は新規事業として宮城県仙台土木事務所から「広瀬川ゴミ調査」の業務委託を受託し、12 月 3 日に不法投棄の多かった作並地区を国土交通省、宮城県の協力を得て近隣住民と一緒にゴミ収集と調査を行い、30 トンを越えるゴミを収集撤去しました。

本業務により、調査で残した河川の大型ゴミ撤去、不法投棄対策について、関係行政との協働による広瀬川環境保全の新たな契機となりました。

### 1 . 公開講座

広瀬川の公益的河川のあり方について、川を知ること、考えること、そして行動することを第一に、下記公開講座を開催しました。開催広報はホームページ、広瀬川通信および河北情報コーナー、他無料情報誌に掲載し、参加を図りましたが参加者を増やすことができませんでした。今後の課題としてテーマ、講師を選考の上参加増員を図り、より充実した公開講座に努めたいと考えています。

月 日	テーマ	講 師	備 考
5/25	これからの川づくり	国交省仙台河川国道(事)堀切英二氏	記念講演
6/22	広瀬川ゴミ調査	会長 日下 均	
9/28	広瀬川ゴミ調査中間発表	会長 日下 均	
06/ 2/22	広瀬川ゴミ問題	会長 日下 均	国交省仙台河川国道(事) 西国維持出張所、宮城 県・環境省東北事務所 グリーンパワー作並
3/23	広瀬川下水問題	仙台市建設局下水道部 仲道雅大氏	

### 2 . ホタル事業

本事業は市民参加の分かりやすい川づくりの一環として、身近な水辺のホタルの里づくりを地域の河川清掃や環境学習、ホタルノ再生につなげ、地域コミュニティー形成と河川環境保全を目指します。直接的な取り組みのほか、ホタルの里づくり支援事業は地域主体の活動を本会が支援し、次の世代に向けた地域の取り組みとして、人づくりと水辺再生、総合学習、生涯学習につなげ、継続的な市民行政協働の活動に育てていきたいと思っています。



会員宅でのホタル飼育



「湯田川ホタル観察ツアー」鶴岡下水道を守る女性の会メンバーと交流



第3回蕃山ホタル観察会



第2回大野田ホタル観察会



月日	活動	備考
通年	ホタル幼虫飼育	会員(松野・加藤・相澤・渡辺善・奥田建設・日下) 若林小・亘理町立吉田小・長町小学校・大野田小学校 郡山小学校・以上水槽貸与
6/18~19	ホタル観察ツアー	鶴岡市湯田川
6/25	第3回蕃山ホタル観察会	蕃山ピオトープ(参加者800名)
7/10	第2回大野田ホタル観察会	大野田ホタルの里づくり(参加者300名)
11/25	利府高校・しらかし台小学校	ホタル飼育水槽設置お手伝いとホタル幼虫提供

### 3 . 河川清掃

広瀬橋地区の定期清掃を年 10 回開催し、4月の花見会、10月の芋煮会、12月の焼き芋会と楽しむの機会も入れ、子供たちのボランティア参加を図りました。また希望者にはボランティア参加証明を発行し、環境保全意識を高めることに心がけました。今後もより多くの青少年が参加する計画を進める予定です。ほかに、八幡地区 1 回、牛越地区 2 回、作並地区 1 回実施いたしました。



月日	清掃場所	参加者	備考
4/9	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 12名	終了後に花見会
4/23	国道48号線折立～広瀬川牛越	参加者 300名	終了後に花見会
5/14	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 14名	
6/11	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 28名	
7/9	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 36名	20名の県内教員清掃実地体験
8/13	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 26名	夏ボランティア体験参加実地
9/10	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 40名	県国際交流協会留学生参加 損害保険代理協会参加 ボランティア活動参加証明発行
10/8	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 25名	終了後に芋煮会
11/12	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 17名	
12/3	作並地区48号線のり面一斉	参加者 147名	支援：国土省・宮城県・仙台市
12/10	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 21名	終了後に焼き芋
06/3/11	郡山堰～広瀬橋 河川敷	参加者 22名	

## 4. イベント

### 第5回「政宗さんの川狩り」

藩祖伊達政宗公が広瀬川で川狩りに興じたという故事に倣い、仙台開府400年記念イベントとしてスタートしました。普段広瀬川との接点が少ない市民向けに、川に行く機会の創出、魚を捕り、アユを河原で焼いて食べる川体験として開催し、体験を通じて、広瀬川の魅力発見を目的としています。

参加者が終了後も水に浸かって川遊びに熱中する光景は主催する側として大変うれしいことです。これからは憩いと癒しの水辺空間、そして安全な川づくりを目指していきたいと考えています。



### 第3回「蕃山カブトムシとふれあう会」～森を知り川を知る～

会員奥田建設(株)との共催事業。自然保護区にある同社山林にカブトムシを放ち、親子でカブトムシを捕る自然体験として開催。栗や檜の木の樹液にカブトムシが集まる習性を学び、山の生き物と環境そして広瀬川の水辺環境とのつながりを学びます。毎回応募者が増加しているため、カブトムシの飼育とスムーズなイベント開催、支援体制が課題となっています。



## 下水道フェア



### 第4回「広瀬川初歩き」 広瀬橋～名取川合流点

参加者は初春の日差しの中、雪が残る河畔を散策、広瀬川の自然と歴史に触れました。広瀬橋から下流へ歩き、芽が膨らみネコヤナギ、カモの親子がのんびり泳ぐ光景を観察しながら1年間の平和を祈念。終了後、五十集屋で新年会を開催し、懇親を深めました。

7/24(日)	「伊達文化創生フォーラムアユ釣り体験」	広瀬川大橋	文化創生フォーラム会員他
7/30(土)	第3回「カブトムシと触れ合う会」 蕃山でカブトムシを捕る体験	蕃山下愛子	市民 3000名 奥田建設(共催)
8/20(土)	市下水道局 実委会主催「下水道フェア」	富沢公園	市民 300名
8/21(日)	第5回「政宗さんの川狩り」 アユつかみ取りと塩焼きで食べる美味しい体験	広瀬川八本松	市民、会員 260名
06/18(土)	第4回「広瀬川初歩き」 広瀬川河畔を歩き、自然と歴史に触れる	広瀬橋～ 名取川合流点	市民、会員 18名

## 5. 環境学習

2回目となる県教育研修センター10年経験者研修に20名の教員を受け入れ、7月の河川清掃体験と講習会を実施。広瀬川環境維持の市民の関わり等について講義しました。後日参加者の報告書が届き、教育に環境活動をどう取り入れるか。など参考となったことや、広瀬川と市民活動に感想文が寄せられました。

## 6. 広瀬川なんでも相談室

広瀬川に関する相談室として、創立時より実施。広瀬川に関する様々な質問や意見に速やかに答えました。以前は所管が国、県、市、と様々な部署に分かれ、相談者がたらいまわしの状況となっていたことから、一元的な窓口として、スムーズな回答を心がける体制としています。所管リストは行政の協力を得ながら作成し、公益的立場から相談者の質問に答えるよう努めています。質問内容は、総合学習、河川利用に関するものが多く、また、不法投棄、芋煮会のゴミ問題、不法耕作など河川利用や占有に関する苦情も見られます。内容は適宜行政に伝え、改善を伴う場合は提言するなど、より充実した相談室をめざします。

件数 74件

## 7. 宮城県委託業務「広瀬川ゴミ調査」

新たな活動として、宮城県とのNPO協働事業「広瀬川ゴミ調査」業務を行いました。内容は7月から12月まで広瀬橋から関山峠までの上流端36キロ区間を調査し、ゴミの種類と量を記録しました。12月3日には、近隣住民とともに作並地区のゴミ収集と調査を実施しました。収集ゴミは30トンを超え、調査で判明した河川大型ゴミの撤去、不法投棄対策については関係行政との協働によって、具体的施策を働きかけています。18年3月23日に図面、DVDなどの報告書を県に納入し、完了しました。



月日	ゴミ調査区間	月日	ゴミ調査区間
8/25	広瀬橋～宮沢橋～愛宕橋	9/29	開成橋下流～上流
8/29	愛宕橋～霊屋橋	9/29	開成橋上流
8/30	霊屋橋～大橋	10/6	開成橋上流～鳴合橋
9/1	大橋～中ノ瀬橋	10/7	鳴合橋～渡幸大橋
9/2	中ノ瀬橋～澱橋	10/13	渡幸大橋～苔地橋～野川橋
9/8	澱橋～牛越橋	10/14	熊ヶ根橋上流～セイコウ大橋
9/9	牛越橋～賢淵	10/18	セイコウ大橋～ニッカ橋
9/13	牛越橋～賢淵～三滝集会所	10/20	ニッカ橋～作並架道橋
9/15	八幡地区～北堤	10/21	作並架道橋～相生橋～作並橋
9/16	四谷堰～新落合橋	10/25	作並橋～志ん作並橋上流
9/20	新落合橋～広瀬高校	10/27	ひとやすみパーキング～大楠條沢橋
9/20	新落合橋～大沢橋上流	11/1	広瀬橋～釣堀センター
9/22	落合三丁目	11/7	12/3 清掃のための事前調査
9/26	開成橋下流～上流	11/15	12/3 清掃のための事前調査



## < 作並地区国道 48 号線・広瀬川清掃及びゴミ調査 >

### < 目 的 >

国道 48 号線のり面及び広瀬川に大量に廃棄されているゴミ清掃実施を通じ、調査と対策を協議し、市民行政協働による環境保全活動の推進及び環境啓発を目的とする。

### < 背 景 >

清流広瀬川は仙台の象徴として全国的に名高い反面、川中には大量のゴミ投棄の問題が以前より指摘されてきた。特に上流部幹線道路及び県道、市道の車輛待避所から河川のり面に向け、建築廃材やタイヤ、ビニール、衣類、家具、家電製品、薬品など様々なゴミ投棄が慢性的に捨てられ、一部は河川に落下、流下している現状がある。ゴミの中には汚染物質も含まれ、長期的には環境問題も懸念されることから、早期の対応を講じなければならない。そこで今回、不法投棄の撲滅及び処理適正化推進を図り、地域を主体とする第 1 回目のゴミ清掃を実施し、あわせて市民行政協働で取り組む環境保全活動を喚起し、広域的なゴミ投棄対策を講じることにした。

1. 実施日 12月3日(土)午前9時 JRハイランド駅前集合
2. 作業時間 午前9時30分～12時
3. 作業場所 国道48号線 作並温泉上流  
「ひと休みパーキング」と上流待避所のり面2箇所及び広瀬川
4. 作業内容 ゴミ収集撤去 ゴミ種別調査
5. 作業人員 約100名
6. 作業体制 車輛 5台(ユニック車2 クレーン車1 搬送用3) テント2張
7. 作業主体 グリーンパワー作並 代表 工藤 秀也 電話395-2589  
特定非営利活動法人広瀬川の清流を守る会
8. 協力・後援 広瀬川市民会議  
48号作並道路愛護会  
ニッカウヰスキー(株)仙台工場  
国土交通省仙台河川国道事務所 仙台西国道維持出張所  
宮城県仙台土木事務所 熊ヶ根駐在所 交通指導隊  
仙台市  
環境省東北地方環境事務所

〔実施報告〕 平成 17 年 12 月 3 日 参加者：150名

参加者	・グリーンパワー作並	17名
	・作並地域(48号作並愛護会・町内会・交通指導隊ほか)	19名
	・広瀬川の清流を守る会会員(作業員含む)	79名
	(奥田建設・仙台環境開発・橋本・日建・後藤工業・建設業協会ほか)	
	・学生ボランティア	4名
	・交通指導隊	6名
	行政	
	・国土交通省仙台河川国道事務所(仙台西国道維持出張所)	3名
	・宮城県仙台土木事務所	2名
	・仙台市 建設局 広瀬川創生室	3名
	・同 環境局廃棄物事業部 廃棄物指導課ほか	2名
	来賓	
	・衆議院議員 郡 和子 秘書2名	3名
	・市議会議員 佐藤 わか子	
	・マスコミ(河北、仙台放送、ミヤギテレビ、建設新聞3)	12名

### トラック(提供)

国交省仙台西国道維持出張所 3台(4トン車) 宮城県仙台土木事務所 1台(2トン車)  
仙台環境開発 1台(4トン車)

収集ゴミ 約30トン(国交省4t車10台 県2t車1台分 仙台環境開発4t車1台)

\* 収集ゴミは国交省、県、仙台環境開発でそれぞれ負担、処分した。

## 宮城県委託業務「広瀬川ゴミ調査」報告書提出書類より抜粋

### 7. 調査結果を踏まえて

#### 7-1 ゴミ除去、啓蒙活動等

調査結果は、今後の管理行政に反映させるとともに一般県民への啓蒙活動にも使用します。

また、調査に参加した市民や関係団体に対し、調査結果を知らせるとともに、さらなる啓蒙活動に資するべく市民センター等に掲示するポスター等を作製します。

同時に今後の本会活動に取り入れ、市民、行政、他団体、企業等との連携による清掃を実施し、環境保全に努めてまいります。

#### 取り残したゴミの除去の計画と実施

#### 対策協議会等の設立と連携

#### 啓蒙活動

1. 掲示用ポスターの作製
2. 調査報告概要版の作成
3. ホームページ、マスコミあらゆる媒体を通してゴミ調査の情報公開
4. 勉強会、公開講座の開催
5. 清掃ボランティアの呼びかけ
6. 環境保全の呼びかけ

#### 7. ポスター原案

##### 1. 「広瀬川は泣いている」 ~ 不法投棄を許すな ~

##### 不法投棄

- ・ 川は泣いている
- ・ 魚も鳥も泣いている
- ・ 捨てられたゴミも泣いている
- ・ 捨てたゴミは自分に帰る

##### 2. 「川のマナーは大丈夫？」 ~ ゴミは必ず持ち帰って ~

##### 河川の利用

- ・ 芋煮会
- ・ 川遊び

芋煮会が終わって、ゴミ処分は大丈夫？ ゴミは持ち帰りがマナー。ナベごと川に置くこと、ゴミを川に捨てることは絶対にやめましょう。川はゴミ捨て場ではありません。

釣り針は子供の足に刺さります。ナイロンくずは鳥の足、羽に絡まります。オモリは銅の毒が魚貝類を通して人間にも影響を及ぼします。

散歩のポイ捨て、犬の糞の不始末は他の市民の迷惑です。

川は公共空間です。また来たときのため、みんなのため、そして未来の地球のために大切にしましょう。